

## 冬の時代

「続日本の神話」が二刷を終了した。多くの方に読んでいただき、御礼を申し上げます。

今年の立冬は十一月七日である。季節はこれから冬の始まりを告げる。「ふゆ」は殖ゆで、冬の間、力を蓄えるという意味である。春の花見から始まり、夏の七夕、秋の収穫が過ぎると冬が訪れ、四季が終わる。それで終わりという字に冬がある。秋祭りの時に、「子供神輿を出す日を、どうして

神社の祭りの日に合わせなければいけないんですか。これは子供会の行事ですよ」と若い奥さまに言われた。

すでに日本人は根本から考え直さなければいけないところまできているのであろう。季節で言えば秋の終りだ。文科省が悪い、誰が悪いと犯人探しをしても何にもならない。これからどうするか。

日本は約三千年前から稲作を中心とした農業国であった。農業という古臭い感じがするらしいが、国際化した現在も食は生活の基本である。祖

先たちは、春に農作業を始める前に豊作を神に祈り、秋に稲刈りをして神の恵みに感謝する祭りを行ってきたのだ。この美しい文化と精神を若者たちに伝えることが私たちの責任なのである。

平成 22 年度 厄年表 (数え年)		生年		
男	前厄	24 才昭和 62 年	41 才昭和 45 年	60 才昭和 26 年
	大厄	25 才昭和 61 年	42 才昭和 44 年	61 才昭和 25 年
	後厄	26 才昭和 60 年	43 才昭和 43 年	62 才昭和 24 年
女	前厄	18 才平成 5 年	32 才昭和 54 年	36 才昭和 50 年
	大厄	19 才平成 4 年	33 才昭和 53 年	37 才昭和 49 年
	後厄	20 才平成 3 年	34 才昭和 52 年	38 才昭和 48 年

□祈願受付午前 9 時半～午後 4 時まで (要予約)